

講義名	英語で学ぶグローバルコミュニケーション		
科目区分	グローバル展開		
担当教員	中川 典子		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	24069

主題と概要

今日の社会では、英語を実際に使用したり、グローバルな視点で物事を考える機会が益々、増えている。本コースはこのような現状に対応するため、基本的な英語コミュニケーション力を養いながら、異文化を理解し、世界に通用する対話力を身につけたグローバル人材を育成することを目的とする。授業ではテキストを使用しての演習と異文化コミュニケーショントレーニングで使われる手法を用いた様々なエクササイズを実践することにより、異文化コミュニケーション能力の育成を目指す。

到達目標

- (1) 課題解決型のスキットを通じて、英語力だけでなく、グローバル人材に求められるコミュニケーションスキルや課題解決力を身につけることができる。
- (2) 英語母語話者だけでなく、ノンネイティブ(英語の母語話者以外)の人々の生の英語に触れることで、実際のグローバルな英語環境に精通することができる。
- (3) クラスメートとのロールプレイ演習により、様々な場面における実践的な英語力を修得できるようになる。

提出課題

授業中に指示する。

評価の基準

- (1) 授業態度および参加度(10%)
- (2) 小テスト(30%)
- (3) 課題(30%)
- (4) 定期試験(30%)

履修にあたっての注意・助言他

- (1) コースの評価は、上記の成績評価基準の(1)~(4)すべての項目を総合して行うが、一つでも不参加の項目がある場合は不合格となる。
- (2) 講師が入室したときに教室にいない学生は遅刻者と見なす。特別な理由がない限り遅刻厳禁。
- (3) 規定の時間以上の遅刻は欠席となる。また、規定以上の回数欠席すると単位が認定されない。

* その他、詳細は、第1回目の授業で知らせる。

教科書

.Must-Have English Skills for Global Communication.	Shinichi Shibata, Rie Jindo, Kinseido Lindsay Wells	¥1,900	978-4-7647-

プリント資料及び参考文献

各ユニットの内容に沿ったハンドアウトを授業中に配布する。

授業計画

1. ガイダンスと自己紹介
2. May I help you? (困っている人に話しかける)
3. What do you do on the weekend? (初対面の人と会話を続ける)
4. That sounds interesting! (ポジティブ・ネガティブな意見を述べる)
5. I'm not feeling well. (体調を伝える)
6. You shouldn't step there (注意する)
7. Why don't we buy potatoes, too? (提案する)
8. Would 5pm be convenient for you? (スケジュールを調整する)
9. I'll have to pass. (依頼を断る)
10. I have an idea. (解決策を提案する・協働作業をする)
11. Could you do me a favor? (お願いする)
12. I think you could explain this more. (アドバイスする)
13. I don't get what you mean. (発言を聞き返す)
14. I'm so sorry to hear that. (相手を励ます)
15. That's not what I meant. (誤解を解く・真意を伝える)

* 授業内容は毎回の進捗状況により、次回に持ち越すことがある。

予習・復習

Moodle教材に基づく英文法の課題を出す。復習として、前週のMoodle課題に基づくクイズを実施する。また、テキストの各ユニットの内容に関する復習クイズを実施する。

備考

教科書を購入せずに受講した場合は単位は認定されない。第1回目の授業で履修に関する重要事項を伝えるので、必ず出席すること。